



主催：公益社団法人 日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会

後援：横須賀市教育委員会、東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター、教育新聞社

協力：公益財団法人 三笠保存会、まちづくり文化ボランティアグループ よこすか市民会議(YCC)

東日本大震災から、わたしたちは海に対する認識や海との接し方について改めて考えさせられました。海に囲まれた国・日本に住むわたしたちは海からの恵みを受けるとともに、海がわたしたちにもたらす災害について深く知り、それを後世に受け継いでいかなければなりません。その鍵となるもののひとつが教育です。このフォーラムでは講演と質疑を通じて、津波に関する最新の知見と、それを子どもたちに伝える海洋教育・防災教育との結びつきについて考えてみたいと思います。

日時： 2015年2月7日(土) 13:00～17:00

会場： 記念艦「三笠」 講堂 (定員：320名)

## プログラム

- 13:00 開会挨拶 小林 正典  
(日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会 委員長)
- 13:05 **第一部 東日本大震災に学ぶ**  
**「東日本大震災の記録」**(DVD上映)  
**「津波から生き延びるために」**  
 富田 孝史(港湾空港技術研究所)  
**「スマホで避難路へ誘導」**  
 太田 現一郎(早稲田大学 大学院 客員教授)
- 14:50 **第二部 海洋・防災教育の現状と今後**  
**「横須賀市の小学校における海の学び」**  
 福田 倫弘(横須賀市立栗田小学校 校長)  
**「高校での津波教育の実践の一例より」**  
 丹羽 淑博(東京大学海洋アライアンス  
 海洋教育促進研究センター 特任准教授)
- 16:00 総括 高橋 洋子(文部科学省 教科書調査官)
- 16:05 記念艦「三笠」説明・見学 (公益財団法人 三笠保存会)  
 艦内見学後、17:00頃 閉会



## 会場へのアクセス・周辺施設

記念艦「三笠」 〒238-0003 横須賀市稲岡町82-19

<http://www.kinenkan-mikasa.or.jp/>

- 京急線「横須賀中央」駅ご利用の場合 徒歩約15分  
または、三笠循環バスで「三笠公園」バス停下車、徒歩2分
- JR横須賀駅ご利用の場合  
京急バスで「大滝町」バス停下車、徒歩7分
- 横須賀市民防災センターで地震と消火を体験することができます。  
こちらも併せてお立ち寄りください(〒238-8550 横須賀市小川町11)。



## 参加申し込み

### ●参加費

一般 600円、高校生：300円、中学生以下：無料 ※三笠艦の見学もできます。

参加費は当日、会場入口にてお支払いください。

### ●申し込み方法

右記のサイトからお申し込みください：<https://www.webmasters.co.jp/jsn-event/20150207/>

または、「第13回海洋教育フォーラム参加申込」と明記し、「①氏名、②所属、③連絡先(メールアドレス又は電話番号)、④午前中の地震体験(防災センター)あるいは三笠艦見学の「有無」をご記入の上、下記事務局までFAX、または電話のいずれかでお申し込み下さい。なお、当日会場での申し込みも受け付けます。

第13回海洋教育フォーラム事務局 代表・竹川正夫 Fax: 046-869-1796 Tel: 046-869-1802

住友重機械マリンエンジニアリング(株) 〒237-8555 横須賀市夏島町19番地

